

【奨励賞】 骨粗鬆症判定支援ソフト NEOOSTEO



代表取締役社長
中村 通氏

朝日レントゲン工業 株式会社

〒601-8203 京都府京都市南区久世築山町376-3

TEL. 075 (921) 4371

<http://www.asahi-xray.co.jp/>

【産学官連携特別賞】

松本歯科大学歯学部 教授 田口 明氏

〒399-0781 長野県塩尻市広丘郷原1780 TEL. 0263 (52) 3100(代)

こつしょうしょう
骨粗鬆症判定支援ソフト「NEOOSTEO」は、歯科診断で使用する顎部のデジタルパノラマX線画像から骨粗鬆症のオートスクリーニング(自動予備判定)を行うシステムである。

骨粗鬆症対策には、骨粗鬆症患者を早期に見つけ出して専門医に受診させる予防的措置が重要である。しかし、骨粗鬆症の受診者は推定患者数の約2割といわれている。受診者が少ない理由としては、骨粗鬆症は「骨折」が起こるまで自覚症状がなく、自分が骨粗鬆症に罹患している疑いを抱かないため、煩雑な骨粗鬆症検診を避ける(検診率：4.6%)傾向があるからである。

通常の歯科診断デジタルパノラマX線撮影に付随して骨粗鬆症の自動予備判定を行うシステムであり、特殊な設定器具や設定作業が不要で、撮影終了10秒後に予備判定結果が出る。過去に撮影したパノラマX線画像データについても適応できるため、改めて検診を受けずに骨粗鬆症の予備判定を受けることもできる。

このため、骨粗鬆症検診の受診者数を増大させ、潜在的な骨粗鬆症患者を発見することが期待できる。パノラマX線撮影に係る僅かな医療費で骨粗鬆症予防対策に対応できるため、骨粗鬆症対応に係る莫大な医療費の大幅低減が可能となる。また、骨粗鬆症について歯科から医科への受診を患者に促すことから、医科歯科連携のモデルケースを構築できる。

